

P4
トピックス

北米戦略室を
新設

糖質科学で未来を創る

Exploring the Innovative Promise of Glycoscience



第69期
年次報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

糖質科学で未来を創る

生化学工業は、糖質科学に研究開発の焦点を合わせ、
独創的な医薬品の創製を通じて、世界の人々の
健康で心豊かな生活に貢献しています。



1
糖質科学を専門分野
とする研究開発型
製薬企業

2
研究開発・製造に
特化したビジネス
モデルを展開

3
高品質な製品を
生み出す
高い技術力

糖質科学 (GAG)

運動器疾患

・変形性関節症
・腰椎椎間板ヘルニア
等

修飾
GAG

GAG
関連酵素
等

眼科領域 疾患

免疫・
アレルギー
疾患

新製品



研究開発基本方針

対象とする物質を複合糖質の構成成分のひとつであるグリコサミノグリカン(GAG)とし、重点疾患を絞り込んだ効率的な研究開発活動を推進しています。

糖質科学とは

糖鎖や複合糖質を研究する科学分野です。近年、多くの病気と糖鎖との関係の解明が進展しています。糖質科学の研究が進むことで、新しい治療法や診断法の開発につながる事が期待されています。

10年ビジョン実現に向けた第2ステップである中期経営計画の最終年度 “萌芽形成”を仕上げていきます

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2009年3月に策定した「生化学工業10年ビジョン」のもと、糖質科学分野に研究開発の焦点を絞り、国際競争力を確立する「グローバル・カテゴリー・ファーム」としての発展を目指しています。

当期は、円安効果を含む海外売上伸びで、国内医薬品の薬価引き下げの影響等をカバーし、前期並みの売上高となりましたが、研究開発費の大幅な増加により、利益は減少しました。

現在取り組んでいる10年ビジョン達成に向けた第2ステップである中期経営計画(2012年度～2015年度)では、“萌芽形成”、すなわち成果の芽を出すことを目的とし、各重点戦略に対して積極的な投資を行っています。

米国での成長ドライバーであるジェル・ワンは、着実に売上を伸ばしつつあります。成長戦略の重点地域である米国において当社製品の市場シェアをさらに拡大させるため、昨年10月に米国駐在員事務所を、本年5月には北米戦略室を新設しました。新たな体制のもと、LAL事業を含む海外展開を加速させていきます。

また、アルツを生産する高萩工場第5製剤棟が本年1月から稼働を開始したことで、近年取り組んできた大型設備投資が一巡し、最適生産体制が整いました。

研究開発につきましては、昨年1月に日本で承認申請した腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603の審査が継続しており、早期の承認取得に向け注力しています。また米国では、現在実施中の第Ⅲ相臨床試験に加え、承認申請時に必要となる安全性評価を主目的としたオープン試験を本年4月より欧州で開始しました。

本中期経営計画では将来に向けた積極的な先行投資を行っており、業績的には厳しい期間となりますが、各重点戦略が着実な進展をみせ、次のステップに向けて新芽を育みつつあります。

当社は、今後も持続的な成長を通じて株主価値の向上を目指し、高い信頼を得られるよう努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

水谷 建

配当に関する基本方針

1株当たり26円を基本とし、今後も安定的かつ継続的な配当を目指してまいります。

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期(予想)
1株当たり年間配当金	26.0円	26.0円	26.0円
【内訳】	中間配当金	13.0円	13.0円
	期末配当金	13.0円	13.0円
配当性向	31.1%	40.5%	50.9%

連結業績概況

ハイライト

当期：2014年4月1日～2015年3月31日

前期：2013年4月1日～2014年3月31日

(百万円)

科目	当期	前期	増減率
売上高	29,522	29,614	-0.3%
営業利益	2,383	4,937	-51.7%
経常利益	4,008	5,878	-31.8%
当期純利益	3,650	4,745	-23.1%
研究開発費	8,146	6,588	+23.7%

売上高は、円安効果や米国向けジェル・ワンの出荷が増加した一方で、国内における薬価引き下げの影響や、米国向けスパルツの出荷が前期に高水準だった反動等を受け、前期並みとなりました。

営業利益は、新生産設備稼働に伴う減価償却費や、開発テーマ進展に伴う研究開発費が大幅に増加したことから、減少しました。

当期純利益は、円安に伴う為替差益の増加に加え、高萩工場に適用される震災関連の優遇税制や米国子会社の有償減資に伴う税率減などがあり、営業利益と比べ減益幅が縮小しました。

事業部門別概況

医薬品事業

売上高構成比

83.5%

ヒアルロン酸を主成分とした医療用医薬品・医療機器の製造・販売を展開する、当社のコア事業です。



■ 当期の業績

国内医薬品 売上高168億9千8百万円(前期比6.1%減)

関節機能改善剤アルツは、市場全体の数量ベースでの伸び率がマイナスに転じるなかで、拡販努力により医療機関納入本数は増加しましたが、当社売上は薬価引き下げの影響により減少しました。

眼科手術補助剤オペガンは、医療機関納入本数は増加したものの、薬価引き下げの影響をカバーできず当社売上は減少しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、医療機関納入

売上高/海外売上比率



営業利益/1株当たり当期純利益



LAL事業

売上高構成比

16.5%

医薬品・医療機器の品質管理に使用されるエンドトキシン測定用試薬などの製造・販売を国内外で展開しています。



■ 当期の業績

売上高48億7千6百万円(前期比14.2%増)

国内外におけるエンドトキシン測定用試薬の販売増加や円安効果により、増加しました。



財務諸表など業績に関する詳細は、当社ホームページの「株主・投資家向け情報」でご覧いただけます。

<http://ir.seikagaku.co.jp/> (決算説明会の動画も視聴できます。)

本数がほぼ前期並みとなりましたが、当社売上は販売提携先における在庫調整の影響を受け、減少しました。

海外医薬品 売上高63億3千9百万円(前期比10.9%増)

5回投与の米国向け関節機能改善剤スパルツは、3回投与の競合品が売上を伸ばすなかで、拡販努力により現地販売は微減に留まりました。当社売上は、前期の出荷が高水準だった反動を受け、減少しました。

中国向けアルツは、医薬品市場の成長が続くなか、高い品質が評価され、現地販売および当社売上が増加しました。

単回投与の米国向け関節機能改善剤ジェル・ワンは、現地販売の増加に加え、円安効果もあり、当社売上が増加しました。

医薬品原体 売上高14億7百万円(前期比13.6%減)

ヒアルロン酸の市場環境が厳しさを増しており、減少しました。

関節機能改善剤

アルツ®
アルツディスポ®
SUPARTZ®(スパルツ)
Gel-One®(ジェル・ワン)



トピックス

北米戦略室を新設

2015年5月に本社組織内に北米戦略室を新設しました。米国市場に特化した独立組織として、マーケット分析や販売戦略の立案などを行い、ジェル・ワンやスパルツの販売提携先の活動支援を今まで以上に強化していきます。また、米国子会社であるアソシエーツ オブ ケープ コッド インクとともにLAL事業の拡大にも取り組み米国における事業展開をさらに加速させていきます。

来期の業績見通し

(百万円)

科目	2016年3月期 業績見通し	増減率 (前期比)
売上高	30,650	+3.8%
営業利益	2,400	+0.7%
経常利益	3,800	-5.2%
当期純利益	2,900	-20.6%
研究開発費	7,850	-3.6%

売上高は、円安効果に加えジェル・ワンや中国向けアルツ等の販売拡大を見込み、増収を予想します。

利益面では、研究開発費の減少や受取ロイヤリティー増加などの増益要因を見込む一方、新生産設備稼働に伴う減価償却費の増加や税率の上昇(一過性低減要因の終了)があることから、減益を予想します。

なお、研究開発費の対売上高比率は25.6%を予想します。

※ 為替レート:対米ドル118円を前提としています。

研究開発活動

生化学工業は、専門分野としている糖質科学に研究開発の焦点を合わせて、新製品の早期かつ継続的な上市を実現するために、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な活動を推進するとともに、内外の研究開発ネットワークの強化にも努めています。

開発パイプラインリスト

開発コード・物質名	適応症	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請
SI-6603 コンドリアーゼ	腰椎椎間板ヘルニア	日本				●
		米・欧			●	
SI-657 ヒアルロン酸	腱・靭帯付着部症 (アルツの適応症追加)	日本			●	
SI-614 修飾ヒアルロン酸	ドライアイ	米・欧		●	第Ⅱ／Ⅲ相	
SI-613 NSAID結合ヒアルロン酸	変形性ひざ関節症	日本		●		
SI-615 アデノシンA3レセプターアゴニスト	関節リウマチ	日本	●			

SI-6603

腰椎椎間板ヘルニア治療剤

日本：承認申請中

米・欧：第Ⅲ相臨床試験実施中

2014年1月に厚生労働省へ製造販売承認申請を行いました腰椎椎間板ヘルニアを適応症とするSI-6603については、現在、審査が継続しています。米国では第Ⅲ相臨床試験を実施するとともに、承認申請時に必要となる安全性評価を主目的としたオープン試験を2015年4月より欧州で開始しました。
※腰椎椎間板ヘルニアとは、椎間板の中心にある髄核等の一部が突出することで、脊椎周辺の神経を圧迫し、痛みやしびれを引き起こす疾患です。

経営資源を集中的に投入

研究開発型製薬企業である当社は、独創的な医薬品および医療機器などの創製に取り組むため、経営資源を研究開発に集中的に投入しています。

当期の研究開発費は、米国SI-6603などの開発テーマが進展したことから増加しました。

研究開発費 8,146百万円 (当期)



研究開発要員 216人 (2015年3月末現在)

(連結ベース)



会社概要 (2015年3月31日現在)

社名	生化学工業株式会社		
創立	1947年(昭和22年)6月2日		
資本金	38億4,040万円		
従業員数	649名(連結ベース)		
事業所	中央研究所 CMC研究所 久里浜工場 高萩工場		
主な子会社	ASSOCIATES OF CAPE COD, INC. (アソシエーツ オブ ケープ コッド インク)		
役員	代表取締役社長	水谷 建	常勤監査役 福本 安志
	代表取締役専務取締役	矢倉 俊紀	常勤監査役 佐倉 義幸
	常務取締役	宮本 政臣	社外監査役 竹内 信博
	常務取締役	大西 和明	社外監査役 柴田 義人
	社外取締役	片山 英二	社外監査役 藤本 美枝
	社外取締役	林 いづみ	
	取締役	石川 慎一	
	取締役	芹沢 修	(2015年6月19日現在)

株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	234,000,000株
発行済株式の総数	58,584,093株
株主数	12,128名

大株主の状況

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	新業株式会社	7,843	13.8
2	株式会社開生社	7,293	12.8
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,944	5.2
4	資産管理サービス信託銀行株式会社 (みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口)	1,973	3.5
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,613	2.8
6	株式会社三菱東京UFJ銀行	1,536	2.7
7	科研製薬株式会社	1,207	2.1
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	810	1.4
9	ビーエヌワイエムエル ノントリーティアー アカウント (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	755	1.3
10	有限会社桐栄興産	700	1.2

※ 持株比率は自己株式(1,778千株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

■ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

■ 定時株主総会

6月

■ 配当金受領株主確定日

3月31日(なお、中間配当を行う場合の確定日は9月30日)

■ 基準日

定時株主総会については、3月31日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告する一定の日

■ 株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

《株式事務に関するお問い合わせ》
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711(フリーダイヤル)
ホームページアドレス
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

《住所変更等のお手続》

株主さまのお取引の証券会社
ただし、特別口座に登録された株式に関するお手続は
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(左記)で受け付けます。
《未払配当金受領のお手続》
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

■ 公告方法

電子公告掲載ホームページアドレス
<http://ir.seikagaku.co.jp/ja/kk.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による
公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告します。

ひざ健康トピックス

ひざイキイキサイトをリニューアルしました！

ひざの痛みに悩まれている方々のサポートサイト **ひざイキイキ**

当社は、ひざの痛みに関する情報を幅広く紹介するWebサイト「ひざイキイキ」を運営しています。より使いやすいサイトを目指し、このたびデザインをリニューアルしました。当サイトでは、ひざの痛みに悩まれている方々をサポートするため、痛みの簡易チェック、最寄りの病院検索、ひざの痛みを引き起こす要因のひとつである変形性ひざ関節症の情報などを掲載しています。このほか、自宅のできる簡単エクササイズのコナーもありますので是非お試しください。

とっても見やすくなったね！

ヒアルくん

カンタン！痛みチェック診断

変形性ひざ関節症について

ひざの病気情報

最寄りの病院を検索をカンタン検索

気になる疑問

ひざの治療情報

ひざイキイキ 検索 <http://www.ehiza.jp/>

ひざに負担をかけない！「日常生活の工夫」

ひざに負担をかけない日常生活の工夫やポイントをご紹介します！

重い荷物は持たないようにする

重い荷物はひざへの負担を大きくします。どうしても重い荷物を運ばなければいけないときは、カートを使うようにしましょう。

ヒールの高い靴は履かないようにする

ひざへの負担を少なくするために、ヒールの高い靴は避け、かかとの低い安定した靴を選びましょう。



ひざへの負担を軽くするために杖を使う

歩くときにひざの痛みがある場合は、痛みを軽くし、症状の進行を防ぐためにも杖を使うことをおすすめします。また、杖を使うことで転倒予防にもなります。

なるほど！
ちょっとした工夫で
ひざへの負担が軽くなるんだね。



生化学工業株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6-1
丸の内センタービルディング
TEL: 03-5220-8950

<http://www.seikagaku.co.jp/>



本冊子は、FSC® 認証紙を使用し、「Non-VOC」の大豆油を主体とした植物油系インキを使い、印刷しています。